

④ ラッピングバスによる航空路線PR

- 【目的】 釧路並びに札幌圏在住者に対し、「釧路—丘珠線」を周知する。
- 【目標】 新規需要の掘り起こしによる利用者の増
- 【内容】 空港連絡バス等へのラッピング
- 【数量等】 釧路圏（空港連絡バス1台）、札幌圏（空港連絡バス1台、路線バス1台）計3台
- 【背景】 ・平成23年の調査において31%の道民が釧路—丘珠線を知らなかったとの結果を得ており、課題として少なくとも路線就航地である札幌圏、釧路圏での認知度向上や、路線があることは知っていても、釧路—丘珠間が約45分という利便性を知らないため飛行機を利用しない人にその利便性を知ってもらうことが、利用促進の第1歩であることから、札幌並びに釧路双方の人口集積地域に長期間に渡ってPRすることができる手法が必要である。

平成26年度取組

- 【計画・立案】 9月下旬～
- ・釧路市、北海道、HAC、阿寒バス、北海道中央バス、北都交通関係機関等協議、調整開始
 - ・路線の選定や実施の具体的な内容、期間、効果測定手法等の検討
- 【準備・制作】 10月上旬～
- ・デザイン制作
 - ・広告施工
- 【実行】 12月1日～
- ・ラッピングバス運行

平成27年度取組

- ・前年度の取組を継続（4月13日から運行）
- ・平成28年2月27日、サッポロファクトリー内においてアンケート調査を実施

平成28年度取組

- ・前年度の取組を継続

